

事業者排出量削減計画書（新規（変更））

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	京都府船井郡京丹波町富田美月61				
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	石井食品関西株式会社 代表取締役社長 浅井 誠				
事業者の主たる業種	肉製品加工業				
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））				
計画期間	20年4月～23年3月				
基本方針	環境方針で2010年度（H22年度）には2004年度（H16年度）比で40%削減をめざす				
推進体制	ISO14001の組織で毎月の進捗状況を確認し活動				
	環境マネジメントシステム名称	ISO14001:2004			
	適用範囲	石井食品関西で製造する製品、惣菜等の設計、開発、製造及び販売			
	取得年月日	2004年1月22日			
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	計画内容		
	20	殺菌ラインC	間仕切りによる効率化		
	20～22	ボイラー室バルブ等	断熱の強化による効率化		
	20～22	ドレン回収配管	配管の交換と断熱による効率化		
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （19）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （22）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （計画）	
	A 事業所等排出区分	4,973 t	4,656 t	-6.4 %	
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	
	C その他排出区分	t	t	%	
	排出合計	*1 4,973 t	*2 4,656 t	-6.4 %	
	目標設定の考え方	H20年度環境方針の目標を元に、基準年度H16年度7760 t 40%削減でH22年度 4656 tの目標			
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）
	工場	二酸化炭素換算 生産数量（万食）	0.826	0.737	-10.8 %
		二酸化炭素換算			%
		二酸化炭素換算			%
原単位の指標及び計画数値設定の考え方	生産数量（H19年度4973 tCO ₂ /6020万食、22年度生産数量が5%アップするとして4656 tCO ₂ /6320万食 4656 tをクリアすると 0.737CO ₂ /万食				
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度（計画）			
		取組量等		（二酸化炭素換算）	
		森林の保全及び整備	（整備面積） ha	（吸収量） t	
		府内産の木材の利用	（利用量） m ³	（削減量） t	
		自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	（売電量） kwh	（削減量） t	
			（熱供給量） GJ	（削減量） t	
グリーン電力の購入	（購入量） kwh	（削減量） t			
削減量等合計		*3 t			
差引排出量 （排出合計－削減等合計）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）		
	*1 4,973 t	*2-(*3) 4656 t	-6.4 %		
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	京都一斉ライトダウンへの参加				
特記事項	製品（ミートボール）のダンボールをCフルートに変更し材料の軽減（生産数量桁違いの為、基準年度及び、目標年度の原単位あたりの温室効果ガス排出量を訂正しました。）				

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。
 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。